

ペイシェントセーフティマネジャー会議受講率

算式

ペイシェントセーフティマネジャー会議受講者数/全職員×100 (%)

対象

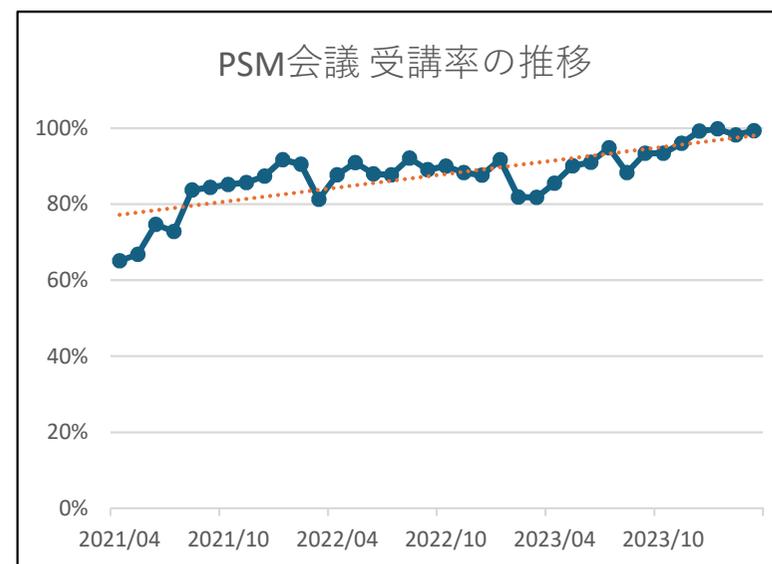
病院に勤務する全職員（病院籍の職員および診療に従事する研究科籍の職員）

考察

当院は特定機能病院として、医療安全を確保しながら高度な医療を提供することを目標に、各診療科および部門にペイシェントセーフティマネジャー（PSM）を配置し、医療事故防止に対する組織的な取り組みを実施している。毎月1回、感染対策チーム全体会議や医療安全会議を含むPSM会議を開催しており、会議の内容は録画され、全職員が後日受講できるようにしている。年々受講率が向上しており、特に2023年度後半からは9割以上の職員が受講し、当院の感染対策や医療安全に関する知識および技能の向上に寄与していると考えられる。

計画

全職員が感染対策や医療安全管理に関する共通の知識を持ち、技能を向上させることを目的に、今後も毎月の会議を継続して開催する。特定機能病院としての感染対策および医療安全管理システムを全職員が理解し、基本的なルールを遵守できるよう、引き続き積極的な受講を促進していく。



(PSM : Patient Safety Manager、ペイシェントセーフティマネジャー)

